

## 日本歯周病学会第5回東北地区臨床研修会報告

主催：特定非営利法人 日本歯周病学会

共催：一般社団法人 秋田県歯科医師会

大会長：藤原元幸（一般社団法人 秋田県歯科医師会会長）

実行委員長：山田 聡（東北大学大学院歯学研究科教授）

運営事務局：東北大学大学院歯学研究科歯内歯周治療学分野内(担当：根本英二)

日時：平成31年3月17日（日曜日）10：00～16：00

会場：秋田県歯科医師会館

メインテーマ：「歯周治療学の最前線-診断、基本治療、再生療法からSPTまで-」

プログラム

- ・特別講演「歯周組織再生誘導剤リグロス®誕生-その薬理作用と使用法について-」  
大阪大学大学院歯学研究科教授 村上伸也
- ・教育講演I「東北大学歯科部門における再生医療実用化への道筋」  
東北大学大学院歯学研究科教授 齋藤正寛
- ・教育講演II「歯周病の検査、診断、基本治療-基礎から最新の知見まで」  
東北大学大学院歯学研究科教授 山田 聡
- ・歯科衛生士教育講演「天然歯およびインプラントメンテナンスにおけるSPTの必要性について」  
有限会社ハグクリエーション歯科衛生士 柏井伸子
- ・ランチョンセミナー 「リグロス®による歯周組織再生療法」  
東北大学大学院歯学研究科准教授 根本英二

秋田県秋田市において平成31年3月17日、第5回日本歯周病学会東北地区臨床研修会が開催された。今年の秋田は例年と比べて雪が少なかったとのことで、街中の残雪はあまりみられなかった。

本臨床研修会は、「各地域の歯周病の予防ならびにその治療の向上を通じて、国民の口腔保健に寄与する」目的を達成するための学会活動の一つとして、学会による研究の成果や新しい技術のみならず、基本的な手技等を全国各地で研修することを目的として行う地方研修会である。地元の歯科医師会と連携して開催することが特徴であり、今回は秋田県歯科医師会との共催事業として行われた。藤原元幸秋田県歯科医師会会長、同会執行部関係各位、同会総務課の方々の献身的なご協力により、滞りなく準備・運営を行うことができた。

広報に際しては、近隣県歯科医師会広報部のご協力により、秋田県内のみならず、東北6県から多くの参加希望者を募ることができ、開催当日の参加者総計は125名に上った（内訳 歯科医師：93名、歯科衛生士：31名、歯科技工士：1名）。

当日は大会長藤原元幸秋田県歯科医師会会長および日本歯周病学会臨床研修会委員会三谷章雄委員長による開会の挨拶に始まり、本研究会のメインテーマである「歯周治療学の最前線-診断、基本治療、再生療法からSPTまで-」を基調として、各講演者それぞれの分野からの学術講演が行われた。

村上伸也教授の特別講演では、歯周組織再生誘導剤リグロス®について、その誕生に至った経緯からリグロス®の有する薬理作用の理論に至るまでの内容が講演された。さらに、教育講演Ⅰにおいては、齋藤正寛教授から、「東北大学歯科部門における再生医療実用化への道筋」と題して、細胞移植治療ならびに自己血清製剤の移植療法の再生医療普及化に向けての試みが紹介された。教育講演Ⅱにおいては、山田聡教授から、歯周治療の根幹となる歯周組織検査、診断、そして歯周基本治療の基礎から最新の知見の紹介を通して、日常臨床の歯周病治療および予防アプローチについての講演が行われた。歯科衛生士教育講演においてはハグクリエーション（有）代表柏井伸子歯科衛生士より、長期的成功のためのインプラントメンテナンスについて非外科的および外科的アプローチから講演が行われた。各講演の最後に設定した質疑応答においては、多くの参加者から日常臨床の核心に迫る質問がなされ、会場に緊張感が漂う有意義な討議となった。

ランチョンセミナーは科研製薬（株）のご協賛のもと行われ、根本英二准教授からリグロス®(科研製薬（株）)の調製方法の注意点をはじめ、東北大学病院歯周病科でのリグロス®を用いた臨床例を提示するとともに、一連の手順の中で見落としとしてはならない基本的な手技などの具体例が示された。最後に、山田聡実行委員長の閉会挨拶により、盛会のうちに幕を閉じることが出来た。以上をもって、日本歯周病学会第5回東北地区臨床研修会の成果報告とさせていただきます。

文責：根本英二

